

『されるより→する』～先手必勝～ 【マタイ 7:7～14】

私達の感情の多くは「～したい」ではなく「～されたい」という願望の方が強いのではないのでしょうか。「愛されたい」「尊敬されたい」「認められたい」など、他人に対してはこのような願望を持っているのに自分は人と接する多くの場面で本音と建て前を使い分けているのではないのでしょうか。自分がそのような気持ちで接しているのに他人にばかり自分に対して良い感情を求めても返ってくるはずがありませんよね。愛されたいのなら先手必勝です。愛されなければまず自分から愛する事が大切なのです。求めたものを受け、捜していたものを見つけ、たたいた扉が開かれる為には「自分のしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。」(マタイ 7:12)と聖書語っています。あなたは自分のしてもらいたい事を他人にしていますか。私達は相手に求めるものが多すぎて需要と供給が壊れています。特に神様を知っている私達は、私達を生涯愛する目で見守っていて下さる方の存在を知っています。だからこそ、先手必勝でありたいのです。その結果、得たいものを自然に得られる人生になります。「愛されたい」「尊敬されたい」「認められたい」…。そのような自己中心な考え方に支配されてはいないのでしょうか。何の為に自分はそうするのか、なぜそうなりたいのか、結果ではなく経過が大切なのです。自己中心な思いを聖書は嫌います。なぜなら自己中心は罪で、罪とは的を外す事だからです。あなたが的を外し幸せになれない人生を歩むのを神様は悲しむからです。神様を信じていなくても自己中心・利己主義な考え方ではうまくいきません。「愛する事」で「愛されている事」、「信じる事」で「信じられる事」を実感するのです。それは私達も願っている事だし、神様も私達と愛し合える関係を築きたいと願っておられます。ですから私達も相手を愛し、受け入れる事が大切なのです。しかし、それは都合の良い関係という意味ではありません。相手にとって本当に良いと思うことをしてあげられる関係です。神様は私達をいつも受け入れて下さり恵みを与えようとして下さっています。それを受け取って行く為に私達もしなければならぬ事があります。「～する人生」そして受け取る為に**①願うこと！**あなたの願いをどこに求めていますか？人に求めていますか？人に求めても無駄です。なぜならその人も求めているからです。願い事を神様に知って頂ければ人のすべての考えにまさる神の平安が心と思いを守って下さると聖書に書いてあります。(ピリピ 4:6,7) その上で**②受け取る準備**をしましょう。願っても実際起こらないと思って祈っているのは、いざ目の前に起こっても受け取る事ができません。願った事は必ずなると信じて祈る事、それが受け取る準備です。**③願った事を人に実践!!!**人に何もしないで願ってばかりいないで下さい。あらゆる場面で「与えるべきか」それとも「与えず求めてばかりでいるのか」決断する時がきます。その時にどちらを選ぶかです。それが実践するという事です。与える方を決断できたら、ゆすって押し入れてあふれんばかりに、あなたは豊かになると聖書に約束されています。恵みは人に分け与えた時からどんどん増えていくのです。問題が起こった時、欲しいと思った時、ピンチをチャンスに変える決断をして下さい！